

実態調査の目的

札幌市の障がい福祉施策に係る今後の方向性の検討のために、障がいのある方の生活実態や取り巻く課題等を調査・分析することを目的として実施します。

実態調査の内容

I アンケート調査

- 1 障がい者調査
- 2 障がい児調査
- 3 施設入所者調査
- 4 精神科病院入院患者調査
- 5 市民意識調査
- 6 事業所調査
- 7 企業意識調査



II グループヒアリング

アンケート調査では把握が難しい実態・課題について、障がい当事者団体等からヒアリングを実施します。

	前回調査対象団体
1	札幌市精神障害者家族連合会
2	札幌市手をつなぐ育成会
3	札幌市身体障害者福祉協会
4	脳損傷友の会コロポックル
5	札幌みんなの会
6	札幌地区重症心身障害児(者)を守る会
7	発達障がい当事者家族の団体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本発達障害ネットワーク北海道(JDDネット北海道) ・ NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー ・ 北海道自閉症協会札幌分会「札幌ポプラ会」 ・ 広汎性発達障がいの青年を支える家族の会アスペルガー基地みらい
8	札幌市通園児父母連絡会
9	一般財団法人北海道難病連
10	札幌市精神障害者回復者クラブ連合会

I-1 障がい者調査

- 札幌市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の被交付者
- 特定医療費（指定難病）受給者証所持者
- ※ いずれも18歳以上

【抽出人数】

身体障がいのある方 2,000人 知的障がいのある方 2,000人
精神障がいのある方 2,000人 難病 450人

【主な設問】

- ・ 基本的な情報（年齢・性別・障がいの状況・住まい・家族など）
- ・ 心身の状況（日常生活の動作、医療の状況など）
- ・ 障がい福祉サービスのこと（利用状況など）
- ・ 外出の状況（外出時に困っていることなど）
- ・ 仕事のこと（仕事の有無、仕事を続ける上で困っていることなど）
- ・ 生活のこと（住まいのことで困ったこと、今後の住まいの希望）
- ・ 防災のこと（災害への備え、不安に感じていることなど）
- ・ 文化芸術のこと（鑑賞や活動の機会のことなど）
- ・ スポーツのこと（スポーツの体験、目的のことなど）
- ・ 札幌市の制度や政策のこと（差別の体験、政策への要望など）

I-2 障がい児調査

- 札幌市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳の被交付者
- 特定医療費（指定難病）受給者証所持者
- ※ いずれも18歳未満

【抽出人数】

身体障がいのある方 500人
知的障がいのある方 500人
難病 50人



【主な設問】

- ・ 基本的な情報（年齢・性別・障がいの状況・住まい・家族など）
- ・ 心身の状況（日常生活の動作、医療の状況など）
- ・ 障がい福祉サービスのこと（利用状況など）
- ・ 外出の状況（外出時に困っていることなど）
- ・ 学校や日中の過ごし方（平日昼間の状況、教育や療育の希望など）
- ・ 防災のこと（災害への備え、不安に感じていることなど）
- ・ 文化芸術のこと（鑑賞や活動の機会のことなど）
- ・ 札幌市の制度や政策のこと（差別の体験、政策への要望など）

I-3 施設入所者調査

- 札幌市内の障がい者入所施設の利用者

【対象施設数】
30施設程度

【主な設問】

- ・ 基本的な情報（年齢・性別・障がいの状況・入所期間など）
- ・ 入所者の意向（退所の希望、退所後の生活に関する希望） ※入所者ご自身の意向を確認して施設職員が記入する。
- ・ 施設側の見解（退所の可能性、退所後に必要な資源など）

I-4 精神科病院入院患者調査

- 札幌市内の精神科病院の入院患者（1年以上）

【対象病院数】
40病院程度



【主な設問（病院調査）】

- ・ 基本的な情報（年齢・性別・症状・入院形態など）
- ・ 病院側の見解（退院の可能性、退院後に必要な資源など）

【主な設問（本人調査）】

- ・ 退院して病院以外の場所で生活したいか
- ・ 退院後に生活したい場所など

I-5 市民意識調査

- 札幌市内に居住する18歳以上の市民

【抽出人数】
3,000人



【主な設問】

- ・ 障がいのある方との関わり（手助けの経験、今後の関わりの希望）
- ・ ボランティア活動のこと（活動の経験、今後の活動の希望）
- ・ 障害者差別解消法、札幌市の施策の認知度（ヘルプマーク、コミュニケーション条例など）

I-6 事業所調査

- 札幌市が指定している障害福祉サービス等提供事業所

【抽出施設数】
2,000施設



【主な設問】

- ・ サービスの提供に関すること（利用人数、提供に係る課題、医療的ケアを要する方の受入など）
- ・ 職員の勤続年数や離職者数、採用困難な理由、人材育成や人材確保の手法など
- ・ 防災のこと（事業所としての備えなど）

I-7 企業意識調査

- 札幌市内に所在する企業

【抽出企業数】
1,000社



【主な設問】

- ・ 障がい者雇用に関すること（雇用の実績、今後の意向、窓口の認知度など）
- ・ 障がい者や支援団体への社会貢献活動に関すること（経験、今後の意向など）

障がい当事者のニーズをより把握するための新たな取組（案）

時勢を踏まえた
適切な設問の追加

NEW!

前回との比較の必要性から、設問は基本的に前回ベースとしつつ、札幌市が抱える、新たな課題等に応じた設問を充実させます。

【新しく追加した主な設問内容】

(新たな肢の追加を含む)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響
- ・ 災害時の避難行動について
- ・ 情報アクセシビリティについて
- ・ ICTの活用について
- ・ 読書バリアフリーについて
- ・ 事業所の人材確保について
- ・ 障害者差別解消法の改正について
- ・ ケアラー/ヤングケアラーについて
- ・ カラーユニバーサルデザイン など

インターネットによる
回答方式の導入

NEW!

回答者の利便性を高めることにより、回答率の向上を図るため、郵送方式のみであった回答方式に加え、インターネットによる回答方式も新たに導入します。

ヒアリングの見直し
対象団体の拡充

NEW!

今回はヒアリング内容について、障がい福祉サービスや身近な生活など、障がいがある当事者を取り巻く環境に関して、しっかりと把握するよう見直すほか、心のバリアフリーや障がい者雇用などの意識調査のため新たに障がい福祉サービス事業所や企業をヒアリング対象に含めます。

※ 前回のグループヒアリングは共生社会について聴取した。

